

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

時に関する表現の習得（中国語）について - “ ? 常 ” を中心に -

著者	玄 宜青
出版者	法政大学国際文化学部
雑誌名	異文化．論文編
巻	9
ページ	71-79
発行年	2008-04-01
URL	http://hdl.handle.net/10114/3602

時に関する表現の習得 (中国語) について

— “经常” を中心に

玄 宜青

0.

中国語の時間に関する表現の中に“经常”“常常”などがある。これは頻度を表すもので対応している日本語は「よく（～をする）」「しょっちゅう（～をする）」などである。教室でこの“经常”を含む文を日本語に訳するときよく見られる間違いは—この語の形から「常に」に訳してしまうことであるが、本稿ではこの「常に」のような間違いについてのみ考えるのではなく、“经常”“常常”など中国語の頻度を表す表現と日本語の頻度を表す表現の異同について考えるのである。

“经常”“常常”について、辞書（中国語辞典、中日辞典）等では以下のように記述している。

“经常”

a (1 省略) 2 [副词] 时常、常常。

[辨析 (類義語)]: 经常、常常、时常: a) “经常”强调屡次发生, 带

有一贯性;“常常”表示发生的次数多,但不像“经常”那样有一贯性。
“时常”表示时有发生。[b) c)省略]d)“经常”的否定式是“不经常”
“常常”;“时常”的否定式是“不常”,不说“不常常”“不时常”。

(应用汉语词典、商务印书馆辞书研究中心编、2000年1月、商务印书馆)

- b いつも、しょっちゅう、よく。

(講談社中日辞典第二版、相原茂編 2002年2月、講談社)

“常常”

- a [副词] 时常;表示行为、动作频繁发生。

(应用汉语词典、商务印书馆辞书研究中心编、2000年1月、商务印书馆)

- b よく、いつも。

(講談社中日辞典第二版、相原茂編 2002年2月、講談社)

またいわゆる国語辞典では「いつも」「しょっちゅう」「よく」については以下のような記述がある。

「いつも」

《副》①いつでも。常に。

「しょっちゅう」

《副》[俗] 常に。たえず。いつも。

「よく」

《副》⑥多くその傾向があるようす。しばしば。いつも。

(学研現代新国語辞典 1994年4月、金田一春彦編著、学習研究社)

上記の辞書の記述だけをみた場合、確かに中国語の“经常”“常常”は日本語に直したとき「常に」という訳を与えても良いようにみえる

が、しかし以下の用例からも分かるように、どのような場合でも「常に」に訳することができるわけではないのである。

中：我经常去市图书馆借书。

日：わたしはよく市立図書館で本を借りている。

この場合「私は常に市立図書館で本を借りている」とは訳せないと考えられる。おそらく

“经常”“常常”は確かに「よく」「いつも」と対応しているが、ただ対応しているのは「しばしば」の部分であって、「常に」の部分ではないということがわかる。

1.

1.0 以上の辞書の記述から分かるように中国語の“经常”“常常”と対応している日本語の「いつも」「しょっちゅう」「よく」と比べた場合、少なくとも「常に」という部分では対応していないことが分かる。以下では例文を中心に考えてみる。

1.1 “经常”“常常”が表しているもの

“经常”と“常常”はいずれも動作や出来事が高い頻度で行われていることを表しているが、日本語の「常に」によって表されているものではないと思う。

(1) 上大学的时候，我们经常（常常）聊天儿一聊就是大半夜。

【大学生の頃よく夜中までおしゃべりした。】

(2) 北京的春天经常刮大风。

【北京の春はよく強い風が吹く】

(3) 小时候我经常（常常）在河里游泳。

【幼い頃よく川で泳いだ。】

(4) 这帮小流氓经常(? 常常) 偷别人的东西。

【この不良少年達はよく人のものを盗む】^(注1)

このように中国語の“经常”“常常”は動作や出来事の頻度が高いことを表していることが分かる。ただ、これはあくまでも頻度であって日本語の「常に」によって表されているものではない。例えば上記(1)～(4)をそれぞれ

【大学生の頃常に夜中までおしゃべりしていた】【北京の春は常に強い風が吹く】【幼い頃常に川で泳いだ。】【この不良少年達は常に人のものを盗む】のように直すのは適切ではない。また、教室で“经常”“常常”を教えるとき、これらの語は「常に」に訳すのは間違いであり、「よく」「いつも」が“经常”“常常”と対応しているとだけ説明するのでは説明が不足であり、「よく」「いつも」の「常に」の部分が対応していないことも伝える必要がある。

1.2 “時刻”

では中国語で「常に」を表す場合どのようなになっているのだろう。中国語には“时刻”という語があり、この語については前出の『应用汉语词典』では次のように記述している。

〔副词〕每时每刻；经常；

この記述から“时刻”と“经常”は意味的には一部類似していることが分かるが、以下のような用例がある。

(5) 时刻警惕传染病蔓延。

【この伝染病が蔓延しないよう常に警戒している】

(6) 时刻惦念住院的孩子。

【いつも入院中の子供のことが心配である】

(7) 时刻不忘自己是一名医生。

【自分が医者であることは忘れたことがない】

(8) 时刻提醒自己出门前一定要关好煤气。

【いつも自分で気をつけるようにしている：出かけるときはガスの元栓を閉め忘れないように。】

このように中国語では“時刻”によって表しているのは、「出来事」が極めて高い「頻度」で行われているというより、同じ「出来事」が「繰り返し」あるいは「絶え間なく」行われていると考えられる。そして結果的にはこの“時刻”によって表されているのが日本語の「常に」によって表されているものに、より類似している。^(注2)それは概ね、日本語の「常に」は単に頻度が高いというだけでなく、「そうでない場合・時間がない」という含意を持つことが多いからではないかと思われる。

2.

2.0 これまでは中国語の“经常”“常常”に対応している日本語という視点から見てきたが、ここでは日本語の方から「いつも」「よく」に対応している中国語について考えてみたい。なぜなら“经常”“常常”は完全に「いつも」「よく」に対応しているとは限らないからである。

2.1 “总”

まず例文からみていく。

(9) 他哪儿都好就是每天上课总迟到。

【かれは他は良いのだが、いつも遅刻するのが問題だ。】

(10) 上课怎么总说话？

【授業中なぜいつもしゃべるのか。】

(11) 说了好多次了，可是总不听。

【何度も言っているのに全く言うことを聞かない。】

(12) 谁有困难她总热心帮忙。

【困っている人がいればいつも優しく対処する。】

この“总”について『应用汉语词典』の記述はつぎのようになっている。

〔副词〕表示持续不变；经常；一直；（その他の記述は省略）

この記述からは“总”も「頻度が高い」「繰り返し」を表していると考えられるが、しかし以下のように“经常”“常常”と置き換えることはできない。

(9) ? 他哪儿都好就是每天上课经常迟到。

(10) ? 上课怎么经常说话？

(11) ? 说了好多次了，可是经常不听。

(12) ? 谁有困难她经常热心帮忙。

これはこの(9)～(12)の例文では“总”を使用して、「遅刻すること」「おしゃべりすること」「聞く耳持たないこと」「優しく対処すること」などの動作行為が多く行われていることを表しているが、ただ、これらの場合は動作行為が頻繁に（或いは繰り返し）行われたことについて述べているというより、発話者がこれらの動作行為が多く行われたと感じていることを表している。すなわち話者の「評価」を表していると考えられる。また、仮日本語の「いつも」「よく」には単純に「頻度」以外に「評価」を表しているとしたら、この「評価」の部分に対応しているのは“经常”“常常”ではなく、“总”であることも考えられる。この点も学習者に伝える必要がある。^(注3)

3.

以上でみてきた“经常”“常常”“总”などの用例は「過去」の出来事や繰り返し行われた出来事を表すものである。以下で見るのは「未来」についての用法である。日本語の「いつも」「よく」「しばしば」など

頻度を表すものは「未来」の出来事には使いにくいものであるが、中国語の“经常”“常常”は「未来」についても使用可能である。

3.1 “经常”“常常”の「未来」を表す用法

まず用例をみていく。

(13) 【東京にでてもまめに家に電話をした方が良い。】

(到东京后要经常给家里打电话。)

(14) 【時間を作ってまめにお母さんに会いに行きなさい。】

(要找时间经常去看々你母亲。)

これらの場合、頻度を表す“经常”“常常”は使用可能であるが日本語の「いつも」「よく」は使いにくくなっている。日本語では具体的な頻度を出して、例えば

(15) 【一週間に必ず2回電話をしなさい】

(一个星期一定要打两次电话。)

のように頻度を表すことも多々ある。また、中国語の“总”“什么时候…都”のような「評価」を表すものは「未来」のことについては使いにくいようである。^(注4)

4.

以上で中国語の“经常”などと日本語の「いつも」「よく」など頻度を表す表現について比べてみた。そもそも問題の提起は日本語話者が中国語を学習するときの「ズレ」は「漢字」の干渉によるものと考えていたが、実際日本語の、“经常”に対応している「いつも」「よく」などの語義からも、日中両言語のこの種の表現における「ズレ」が生じる可能性があることも分かった。また、この種の表現に関係ある語は他にも多く存在するため、もう少し体系的に考察する必要があるが、

これを今後の課題とする。

注

注1 “经常”と“常常”は例文(1)(2)(3)のように多くの場合は置き換えが可能であるが、(4)のように置き換えが難しい場合もある。置き換え不可の部分については『应用汉语词典』では

a) “经常”强调屡次发生,带有一贯性;“常常”表示发生的次数多,但不像“经常”那样有一贯性。

のように記述されている。ただこの「一贯性」についての具体例はない。

また『講談社中日辞典第二版』では次のような記述がある。

〔常常〕動作、行為の頻度が高いことを表す。動作行為には一貫性がなくても良い。回数の多いことを強調する。よく、しばしば。〔经常〕動作、行為の頻度が高いことを表す。この場合は〔常常〕と言い換えられる。動作行為の連続性あるいは規則性など、一貫性を強調する場合は〔常常〕は置き換えられない。

a) 他经常(×常常)锻炼身体。【彼はいつも体を鍛えている】

b) 房间应该经常(×常常)打扫。【部屋はいつも掃除しておくべきだ】
(『講談社中日辞典第二版』の内容はここまで)

のように記述されているがここで正しくない文として記載している文の正誤については中国語話者によっても判定が分かれる。特にa)については意見が分かれる。

また「すべきである」「自分から積極的に行う」のような意味が帯びる場合“常常”は使いにくい傾向にある。

注2 「繰り返し」行われている「出来事」は用例からは「走る」「食べる」のような動作動詞は考えにくい。例えば

一直在跑【ずっと走っている】

一直在吃【ずっと食べている】

は「継続」(進行)であると考えられるが、仮に“一直在…”を使用しても

一直在提醒他们…【繰り返し注意した】

一直在惦记…【繰り返し心配した】

のように考えるのが自然であると思う。

また繰り返しある動作を行うという意味を表すものに“时不时”(ちょくちょく)というものもある。

【駅に向かって歩き出したがちよくちよく振り向いた。】

他朝车站走去。边走边时不时地回头张望。

注3 “总”に類似した意味用法をもつものには、他に“每每”や“什么时候…都”などもあるが、ここではそれぞれの語彙についての検討は行わない。

注4 “总”については

到了东京之后要安心学习,不要总想着回家。

? 到了东京之后要安心学习,要总想着给家里写信。

のように「肯定」「否定」によって異なるが、“经常”にはそのような違いはない。

到了东京之后要安心学习,不要经常想着回家。

到了东京之后要安心学习,要经常想着给家里写信。

これは“总”は話し手の気持ちを表す「評価」についての表現であることが原因であると考えられる。

参考文献

- テンスとアスペクトⅠ、Ⅱ、Ⅲ 張秀ほか著 中川裕三ほか訳 2000年11月／
2001年7月／2001年11月 好文出版
- 時・否定と取り立て 金水敏ほか著 2000年11月 岩波書店
- 現代汉语八百詞 呂叔湘主編 商务印书馆 1980年
- 实用现代汉语语法 刘月华等 外语教学与研究出版社 1983年